

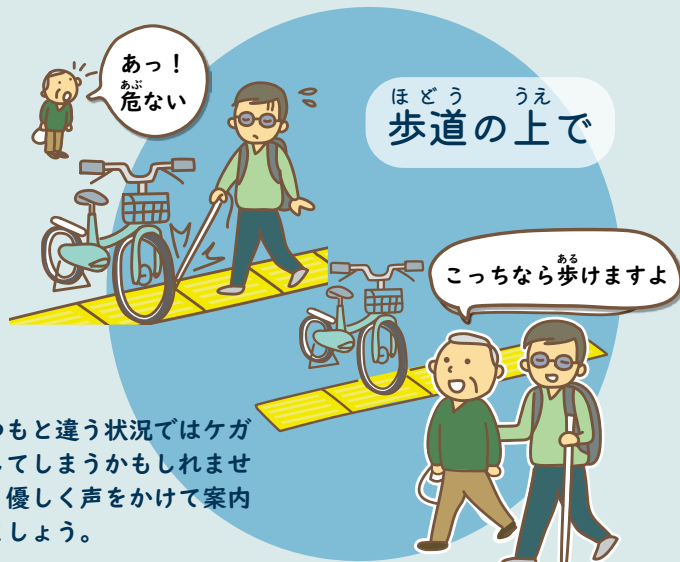


問合せ▼障害福祉課 ☎232・9173

私たちのまちには、こどもからお年寄りまで、さまざまな人たちが一緒に暮らしています。例えば、目が見えない人、耳が聞こえない人、車いすを使用している人、お腹に赤ちゃんがいる人、日本語がわからない外国人の人など…人によって考え方や感じ方もそれぞれ違います。

みんなが一緒に気持ちよく暮らしていくために、私たちができることは何か、一緒に考えてみましょう。

困っている人を



いつもと違う状況ではケガをしてしまうかもしれません。優しく声をかけて案内しましょう。

見かけたらどうする？



大事なことが聞こえていない様子だったら、教えてあげましょう。



外国人も、知らない場所では不安でいっぱいです。まずは積極的に声をかけて聞いてみましょう。

困っている人を見かけたら、「なにかお手伝いしましょうか？」「なにかお困りですか？」と積極的に声をかけましょう。

断られてもがっかりすることはありません。あなたの親切な気持ちは伝わっています。

みんなと一緒に気持ちよく暮らしていくためには、道路や建物の障壁（バリア）をなくすだけでなく、偏見や差別、無関心といった「こころの中にあるバリア」を排除することが重要です。一人一人が相手の気持ちになって考え、助け合うことで、「こころのバリアフリー」を広げていきましょう。

あなたの声かけが暮らしやすいまちをつくれます。

市では、「こころのバリアフリー部会」を設置し、すべての市民の「こころのバリアフリー」推進に向けた協議・検討を行っています。

【こころのバリアフリー講演会】

日時▶1/19(月) 14:00～15:30

場所▶市役所4階

講師▶有賀絵理氏(バリアフリー部会長)

料金▶無料

定員▶先着80名

申込み▶1/13(火)までに、☎、☒



10/10

常磐小学校の4年生が体験しました

市では、こころのバリアフリーの推進に向けてさまざまな取組を実施しています。

取組の一つが、市内の小学校・義務教育学校で実施している「交通バリアフリー教室」。この教室では、実際に路上を走る路線バスを使い、車いすでの乗降体験や、手足に重りをつけ、杖を使ってバスの乗降する高齢者疑似体験を行うことで、こどもたちが自身が障害を持った当事者や介助者、運転士、そして乗り合わせた乗客の気持ちになって考え、協力し助け合うことの大切さを学びます。

小学生がこころのバリアフリーを考える
開催しました
交通バリアフリー教室を